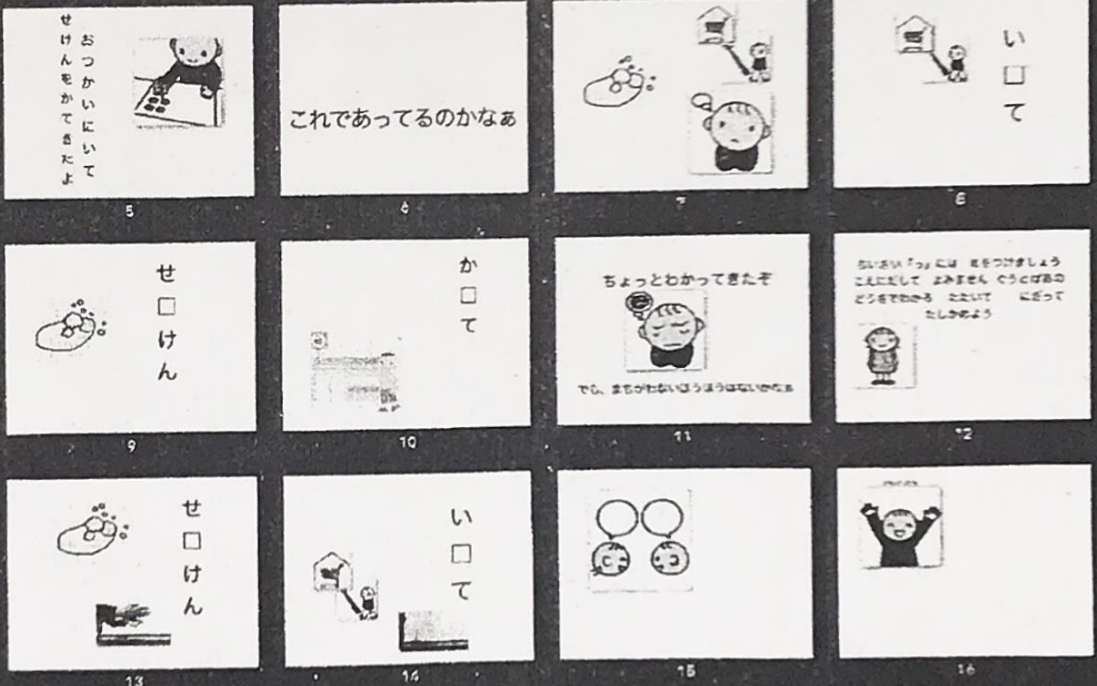


大項目	書くこと
小項目	特殊音節の書き
タイトル (教材名)	たたいてにぎって考えよう
目的 身につけてほしい力	動作化したり歌ったりすることによって、多感覚で表記の法則を身につける。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多層指導モデル MIM の指導用に作成しました。</li> <li>・動画、音声、シンボルを使用して Keynote で作成しています。</li> <li>・使用しているシンボル：ドロップス（ドロップレット・プロジェクト）</li> </ul>
使用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Keynote のプレゼンテーションで指導した後、すぐにプリントで表記の練習問題を行う</li> <li>② まず動作化を行い（促音は手をグーの形にするなど、参考文献を参照）、その後を書く、ということを繰り返す。</li> <li>③ 早く終わった児童生徒はプリントの裏にマス目を印刷してあるので、促音の含まれる言葉を集めて自分で書く。</li> </ol>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 2 年生で指導する場合は、カタカナ表記できるものも練習問題で取り組みました。通級指導でも、1、2 年生の学級での指導で活用しました。</li> <li>・児童生徒の声でやりとりしたり歌ったりしている音声が入っています。</li> <li>・この他にも、拗長音を指導するバージョンも作成しています。</li> <li>・参考文献 「多層指導モデル MIM 読みのアセスメント・指導パッケージ」（海津亜希子、学研、2010 年）</li> </ul>